

佐渡市 協議の場の取りまとめ(案)

市町村名 (市町村コード)	佐渡市 ()	
地域名 (地域内農業集落名)	()	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年 月 日 (第3回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

数値については取りまとめ中です

佐渡全体で、農業者の高齢化が進んでおり、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。

このため、分散する担い手の農地を集約するとともに、地域で取り組める新たな作物として飼料作物の栽培方法を検討していく必要がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

農地の集積・集約化を進めるとともに農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める。

また、地域コミュニティの活性化のため、地域内外から農地を利用する者を確保し、担い手への農地の集約化に配慮しつつ、農業を担う者への農地の再分配を進めることができるよう必要な条件整備を実施し、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	○ ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	○ ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	○ ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農業振興地域農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・担い手を交えた話し合いで農地集積を図る。 ・農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンクを活用した農地の集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・所有者の意向を踏まえ農地中間管理機構を活用し、担い手の経営意向も踏まえ段階的に集約化を図る。
(3)基盤整備事業への取組方針
・所有者への負担を考慮しながら農地の大区画化、汎用化等の基盤整備及び用排水路の改修、整備を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・地域内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組む。 ・地域内にある生産組織が健全な経営を維持できるよう、雇用確保・誘導や畔草管理の手伝い等を行い地域全体でフォローしていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・農業用ドローン等によるスマート農業機械の活用による作業委託により省力化、効率化を図る。 ・地域内の生産組織に機械作業の委託を進め作業の効率化を図る。 ・機械共同利用を進め、作業の効率化を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①鳥獣被害点検マップ作成、被害防止策を検討、実施する。
- ②5割減栽培の取り組みを通して地域の環境保全を進める。
- ③アシスト機能搭載機械やドローン等を導入し、農作業の効率化を図る。
- ⑤地域の特産の果樹への切り替えを検討する。
- ⑦耕作不適地をビオトープとして農地の保全・維持を図る。
- ⑧農業用施設を共同作業で維持管理し、改修、更新が必要な場合は早期に計画するように努める。
- ⑨飼料作物を地域内の畜産農家へ供給する仕組みを構築する。